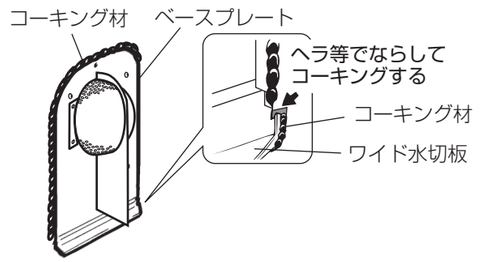
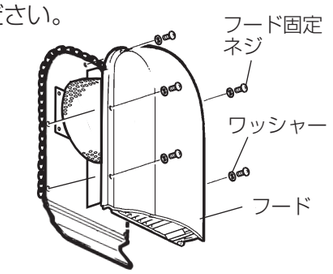
取付方法　つづき

3.ベースプレートの全周と壁面とのすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す。



4.フードを元通りフード固定ネジで確実に固定する。(5か所)

●ベースプレートの仕切板とフードの仕切板が沿うようにフードを正面からベースプレートにあわせて取付けてください。



お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

点検項目

- 製品の取付け状態は正常であるか?
- シール材、コーキング材に亀裂など、劣化していないか?
- ネジ類に緩みなどないか?
- 製品各部にサビや塗装の浮きなどがないか?
- 温度ヒューズに著しい腐食の発生がないか?

※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買い上げの工事店に依頼してください。

清　掃

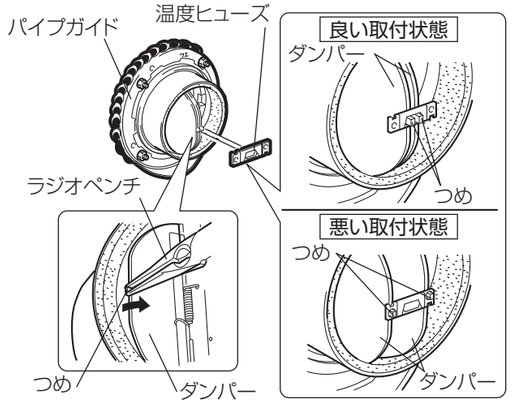
■塩害地区の設置環境では、付着した塩分などを除去するため定期的に水洗いをしてください。
塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますとサビの発生原因となります。

※清掃・修理などの際には、シンナー・アルコール・その他化学薬品(酸・アルカリ洗剤)などの溶剤等を使用しないでください。腐食や変色・変質などの原因になります。

温度ヒューズの交換

※温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。
交換はお買い上げの工事店に依頼してください。

※はずしたネジはなくさないでください。(取付ける際に必要です)



1.フードを取りはずす。
2.ベースプレートに取付けられている仕切板・風路カバーを取りはずす。
3.現在取付けられている温度ヒューズをはずす。
4.ダンパーのつめをラジオペンチでつまみ、ダンパーを開ける。
5.ダンパーのつめに温度ヒューズをセットする。
●左図の「良い取付状態」のように温度ヒューズ中央の穴にセットしてください。
6.「2.」で取りはずした仕切板・風路カバーを取付ける。
7.フードをフード固定ネジにて確実に固定する。(5か所)

DAIKEN 大建工業株式会社

本社：〒530-8210　大阪市北区堂島1丁目6番20号　堂島アバンザ22F

お問い合わせ
サウンドセンター
（東京）電話（03）6271-7785（大阪）電話（06）6452-6141

1310874HF4303

DAIKEN

24時間換気システム〈エアスマート〉専用部材

品　名	品　番
DKファン1穴用A防音フード12型	SB0898-K30（ステンレス製）
DKファン1穴用A防音防火ダンパー付フード12型	SB0898-K40（ステンレス製）

取付・取扱説明書

このフードは、DAIKEN24時間換気〈エアスマート〉用換気扇を施工し、給気・排気をする場合に屋外側に取付けて使用するものです。

■防火ダンパー付は、ダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。
■防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付けが必要です。
■取付けを始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。
■取付けは工事店さまが実施してください。
■防火ダンパー付フードの温度ヒューズの溶断温度は72℃です。

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	●防火ダンパー付フードの防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備(給湯機・風呂釜など)の排気ダクトには使用しない （誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります） ●常時振動したり、振動しやすい場所には取付けない （落下によりけがをするおそれがあります）
指示に従い必ず行う	●本体の取付けは、十分強度のあるところを選んで確実に行う （落下によりけがをするおそれがあります）

⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
指示に従い必ず行う	●取付けやお手入れの際は、手袋を着用する （着用しないとけがをするおそれがあります） ●部品の取付けは確実に行う （落下によりけがをするおそれがあります）

取付け前のお願い

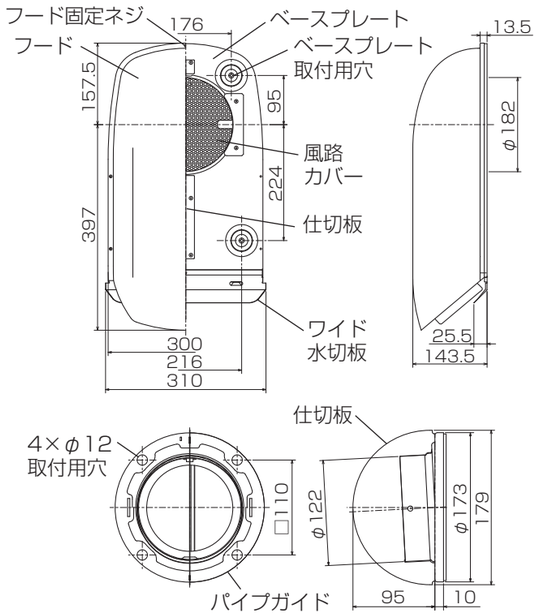
- 使用環境が−30℃〜50℃の範囲になる場所で使用してください。
- 重塩害地区にはご使用できません。
- この製品は汚染ガス耐力（酸、薬品、温泉害等）を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
  ・化学工場、パルプ工場等の構内およびその周辺地域
  ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
  ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
  ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換が容易にできるところへ取付けてください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装のはく離や製品各部の変色、発錆の原因となります。
  必ず下記の方法にて取付けてください。
  ・タイル仕上げの外壁…
  必ずタイルの酸洗い後に外壁部材を取付けてください。
  ・吹付塗装仕上げの外壁…
  必ず吹付塗装後に外壁部材を取付けてください。
  製品取付け後、酸洗いや吹付塗装を実施する場合は、有機溶剤などが製品に触れないように必ず養生をしてください。
  また、養生をはずした後には、必ず製品を水洗いしてください。

適用パイプ径と付属部品

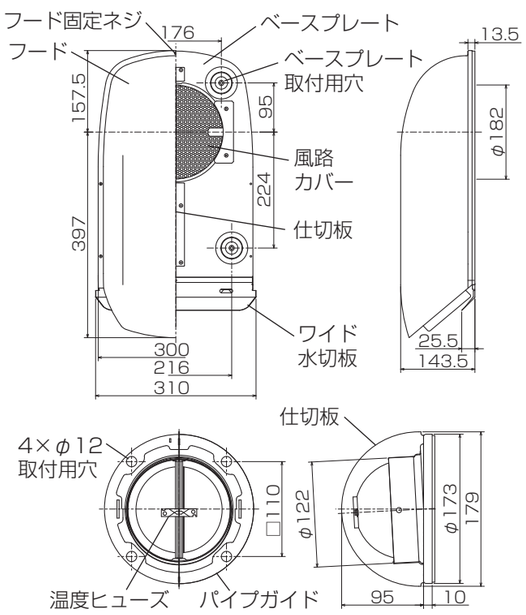
適用パイプ径	付属部品
φ100	・ベースプレート固定用 木ネジ　……4本 ワッシャー……4個 ・パイプガイド固定用 木ネジ　……4本 ワッシャー……4個

外形寸法図

〈SB0898-K30〉



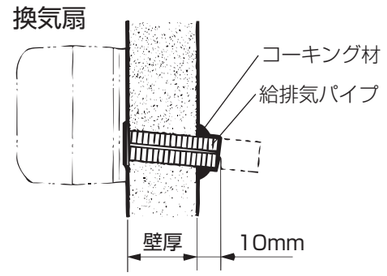
〈SB0898-K40〉



単位(mm)

取付方法

※はずしたネジはなくさないでください。(取付ける際に必要です)

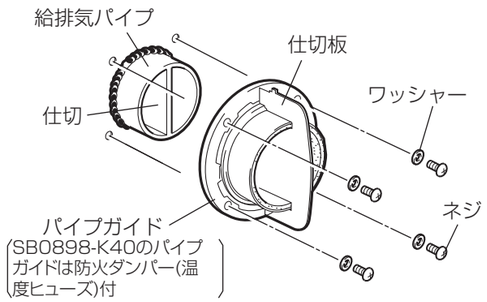


給排気パイプの取付け

1.給排気パイプを外壁より10mm出る長さになるように金ノコギリで切断する。
2.外壁より出た給排気パイプと壁穴とのすき間をコーキング材(気密遮音コーキング333K)で埋める。

お願い

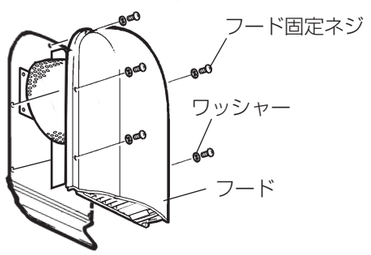
- 雨水浸入防止のため壁穴は必ず室外側に下りこう配になるようにあけてください。



パイプガイドの取付け

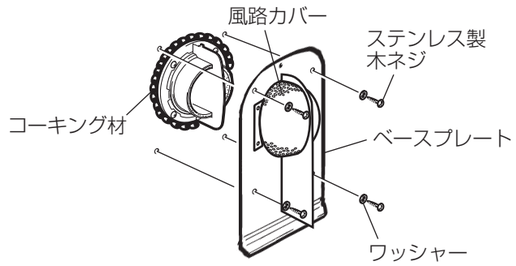
1.パイプガイドの「ウエ」印が上になるように取付け、同梱の木ネジ、ワッシャーにて締め付け、固定する。(4か所)
- 給排気パイプの仕切とパイプガイドの中心にある固定金具を合わせて取付けてください。

2.パイプガイドの全周と壁面とのすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す。

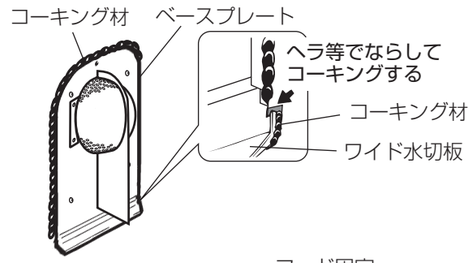


フードの取付け

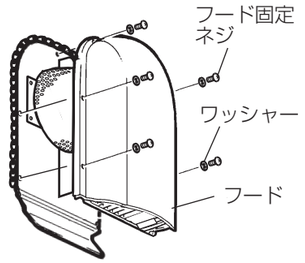
1.フード固定ネジ(5本)をゆるめ、フードを取りはずす。
- はずしたネジは最後の取付けに使用しますので、なくさないように保管してください。



2.ワイド水切板が下になるようにしてベースプレートを取付け、同梱の木ネジ、ワッシャーにて締め付け、固定する。(4か所)



3.ベースプレートの全周と壁面とのすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す。

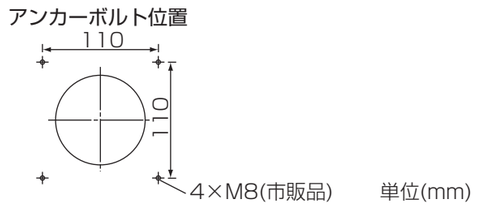


4.フードを「1.」ではずしたフード固定ネジにて確実に固定する。(5か所)
- ベースプレートの仕切板とフードの仕切板が沿うようにフードを正面からベースプレートにあわせて取付けてください。

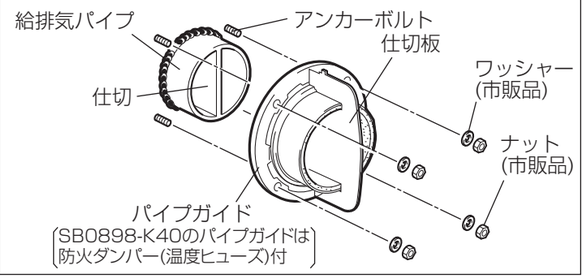
〈強度の確保ができない外壁に取付ける場合〉

パイプガイドの取付け

1.下図の寸法を参照して市販のアンカーボルト(M8)を埋め込む。
- 壁穴のセンターに対し、アンカーボルトの埋め込み位置がずれないようにしてください。

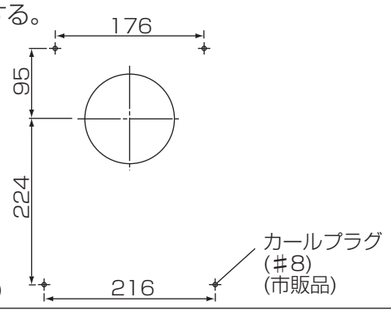
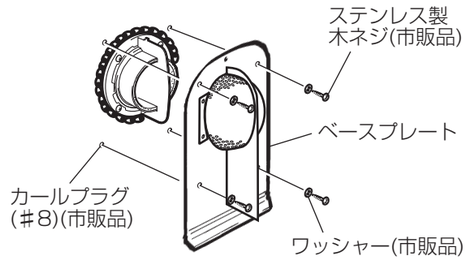


2.パイプガイドを取付け、市販のワッシャー・ナット(M8)を締め付け固定する。
3.パイプガイドの全周と壁面とのすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す。



ベースプレートの取付け

1.下図の寸法を参照してあらかじめ外壁にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、市販のカールプラグ(#8)を挿入する。
- 壁穴のセンターに対し、カールプラグの挿入位置がずれないようにしてください。



2.ベースプレートを取付け、市販のステンレス製木ネジ・ワッシャーで確実に固定する。(4か所)